昭和十一年度直轄工事年報

總論

第一治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニ在リ次デ同八年六月利根川ノ工事ニ着手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ノ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ專ラ低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果同法ニ依リ淀、筑後ノ兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川、同年九月ニハ利根川第一期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ至レリ然ルニ明治四十

三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲慘事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根本的治水ノ計畫ヲ樹立スル事トナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得、同四十四年度ヨリ該計畫通リ事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改收ノ利益ヲ可成的全國各地ニ均霑セシメントスルモノナリ其河川名左ノ如シ

第一期河川

利根川　信濃川　木曾川　淀川　九頭龍川
吉野川　庄川　高梁川　遠賀川　北上川
雄物川　荒川　阿賀野川　富士川　最上川
神通川　岩木川　加古川　綠川　斐伊川
（以上二十河川）

第二期河川

天龍川　阿武隈川　筑後川　那珂川　庄內川
中川　手取川　矢作川　大和川　吉井川
馬淵川　紀ノ川　大淀川　由良川　多摩川
關川　米代川　鳴瀨川　久慈川　菊池川
鄕川　旭川　渡川　蘆田川　川內川
相坂川　千代川　鶴見川　大野川　球磨川
相模川　肱川　矢部川　狩野川　圓山川
肝屬川　太田川（靜岡）　豐川　白川　大分川

酒匂川　鈴鹿川　太田川(廣島)　名取川　仁淀川
(以上四十五河川)

右ノ內第一期河川ハ大正十七年度(昭和三年度)迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間內ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟チ改修ニ著手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ベノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノ事ニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未著手ノモノハ斐伊、緑ノ二河川ニ過ギザリシ(後兩川トモ著工)ト一面ニハ河狀ノ變化、產業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二次臨時治水調査會ニ於テ愼重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川其他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度內ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之レガ決定ヲ見タルモノ卽チ左記河川是ナリ

鬼怒　川(利根川支川)　小貝　川(利根川支川)　信濃川上流(新潟縣下)　犀　川(信濃川支川)
野洲　川(淀川支川)　木津　川(淀川支川)　北上川上流　雄物川上流
最上川上流　天龍　川　阿武隈川　筑後　川
那珂　川　庄內　川　手取　川　矢作　川
大和　川　吉井　川　馬淵　川　紀ノ川

大淀川　由良川　關川　米代川
久慈川　旭川　渡川　蘆田川
川内川　千代川　鶴見川　大野川
相模川　肱川　狩野川　肝屬川
豐川　白川　大分川　酒匂川
鈴鹿川　太田川（廣島）　名取川　仁淀川
新宮川　安倍川　菊川　大井川
北川　常願寺川　小矢部川　黒部川
天神川　日野川　佐波川　那賀川
土器川

（以上五十七河川）

右ノ內帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津、川內及太田（靜岡）、安倍ノ各川並多摩川上流ノ十九河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ銳意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其改修區域ハ利害ノ關係極テ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニ非ザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益々河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ內務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴

瀬兩川改修費ヘ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ大正七年度ヨリ多摩川、千曲川(信濃川上流)ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其事業ヲ直接施行スルコトトナリ尚翌八年度ヨリハ太田川(靜岡)、阿賀阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圓山川ノ改修工事ニ對シ孰レモ半額ノ補助ヲ與ヘ且其工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ同十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大洪水ニ鑑ミ更ニ增補工事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ而シテ治水事業ハ昭和五、六兩年度ニ於テ繰延節約サレタル結果繼續各年度割額僅少トナリ全般ニ亙ル工事ノ進捗ヲ遲延スルノ止ム無キニ至レリ就中工事施行ノ最盛期ニ當ル河川ニ在リテハ施工ノ手順ニ大ナル支障ヲ來セルノミナラズ既成部分ノ工事ヲ維持スル上ニ必要トスルモノ又ハ其效果ヲ充分ナラシムル爲メ急施ヲ要スルモノアルモ少額ノ年度割ニテハ到底工事ヲ遂行シ能ハザルガ故ニ八年度ニ於テハ經濟界ノ不況ニ因ル時局匡救ト農村振興ノ意味ヲ以テ既定年割額ノ外荒川上流外十六箇川等ニ係ル總額四百六十萬五千三百圓(內地方負擔二十五萬圓)ヲ繰上ゲ施行ノコトトナレリ

昭和八年十一月ノ土木會議ニ於テ第三次治水計畫ヲ樹立セリ卽チ明治四十三年ノ臨時治水調査會ノ決議ニ依ル豫定方針ニ從ヘバ今後八箇年度內ニ四十一箇川ノ改修ヲ行ハザルベカラザルガ國庫ノ財政ハ是等多數ノ河川ヲ此短期間ニ改修スルコト到底困難ナリト認メラルルヲ以テ緊急改修ヲ要スル左記河川ニ付テハ今後十箇年度內ニ着工シ同十五箇年度內ニ完成シ其他ノ河川ハ之ニ續テ著工スルヲ適當ト認メラル其河川ハ次ノ如シ

北上川上流　　米代川　　雄物川上流　　阿武隈川下流

久慈川　入間川　相模川
黒部川　常願寺川　小矢部川　手取川
豊川　庄内川　新宮川　由良川
天神川　吉井川　郷川　菊池川
白川　球磨川　大分川　肝属川
（以上二十四河川）

此以外ノ河川ニ付テモ今後河川ノ變化ニ依リ水害著シク增大シテ速ニ改修工事施行ノ必要アル場合ニ於テハ直ニ追加シテ工事ニ著手スルモノトシ又國ノ直轄改修ヲ俟タズ府縣ニ於テ改良工事ニ著手スル場合ハ別途中小河川改修ノ例ニ倣ヒ國庫ニ於テ助成スルモノトス

又現ニ改修工事ノ一部ニ著手シタル左記河川ハ今後繼續施工シ其完成ヲ期スルモノニシテ木曾川下流ハ既ニ一應改修濟ナルモ現在堤防ヲ以テハ其安全ヲ期シ難キヲ以テ成ルベク速ニ其ノ增補工事ヲ行フモノトス

最上川上流　小貝川　烏川（神流川ヲ含ム）　菊川
矢作川　大和川

砂防ニ就テハ既定計畫ニ基キ鋭意遂行シ來リタルモ尙利害ノ關係重大ニシテ工事困難ナル左記十九河川ヲ國ノ直轄トシテ今後十箇年度內ニ著工シ同十五箇年度內ニ完成スルモノトス

最上川支流立谷澤川　同　銅山川　阿武隈川支流荒川
利根川支流鬼怒川　同　渡良瀬川　相模川

信濃川支流清津川　黒部川　富士川水系
信濃川水系　天龍川水系　庄内川支流土岐川
木曾川支流中津川（落合川ヲ含ム）　安倍川　大井川
淀川支流野洲川　淀川支流大戸川　新宮川支流十津川
蘆田川

既定河川ノ内本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ筑後川、淀川（増補工事トモ）木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀬川（利根川支川）、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期（江戸川、中川ヲ含ム）、荒川下流、阿賀野川、多摩川、北上川、太田川（静岡）、加古川ノ十五流域ニシテ工事中ノモノハ荒川上流、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、千曲川（信濃川上流）、神通川、岩木川、阿賀阿武隈兩川、圓山川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流（新潟縣下）、天龍川、千代川、蘆田川、紀ノ川、筑後川新工事、綠川、北川、旭川、鬼怒川（利根川支川）、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川（淀川支川）、川内川、太田川（廣島）、安倍川、多摩川上流、最上川上流、矢作川、淀川低水、小貝川、菊川、烏神流川、手取川、小矢部川、天神川ノ四十一工事ナリ而シテ右ノ内附屬物及水路維持工事トシテ實施中ノモノハ木曾川、淀川、利根渡良瀬兩川、信濃川、荒川、多摩川、北上川ノ八河川ナリ又各河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣成シタルハ吉野川及野洲川（淀川支川）、神通川、桂川（淀川支川）ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川流域（瀬田川）、富士川、信濃川水系（千曲川）、鬼怒川（利根川支川）、常願寺川、手取川、揖斐川（舊木曾川支川）、木津川（淀川支川）、神通川ノ九河川ナリ此内淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲スモノニシテ千曲川モ同七年度ヲ以テ竣成ノ豫定ナリシガ是亦千曲川及支川犀川ニ於ケル荒廢溪流ニ對シ施工ノ要アルヲ以テ信濃川水系ト

改稱シ七年九月以降農村振興土木事業トシテ追加工事ヲ施行スルモノナリトス

第一　港灣改良事業

港灣改良工事ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ國運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益重要ヲ加ヘ天然ノ儘ニ放任スルヲ許サズ隨時、隨所ニ之ガ施設ヲ見ルニ至レリ明治三十三年六月勅令第二百六十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絕シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ內務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第二百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委ヌベキモノトニ區別シ卽チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ橫濱、神戶、關門海峽（下關、門司）、敦賀ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣內ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川（土崎ヲ含ム）、靑森、仙臺灣內ノ一港（明治四十三年五月伊勢灣內ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣內ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス）ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月淸水、那覇ノ兩港ヲ同十年六月若松、高松、小松島、今治、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十一月小名濱、細島、浦戶、宮古、大分、七尾、尾道、博多ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月三角、宇野ノ兩港ヲ、同八年一月和歌山、廣島ノ兩港ヲ、同十年二月八戶、飾磨、宇部ノ三港ヲ追加シ三十六港ヲ數ヘ第一種、第二種ヲ通ジテ四十一港トナレリ而シテ明治三十年法律第三十七號ニ依リ地方ノ事業ヲ國ニ於テ直接施行スルモノ漸次多キヲ加ヘ一面ニハ大藏省ニ於ケル橫濱、神戶及

門司ノ諸港ニ稅關設備トシテ港灣工事ヲ施行シ居リ我國港灣ノ施設經營ニ關スル行政制度ノ紛更ヲ招來セルノ虞アルニ鑑ミ大正七年十月閣議ニ於テ港灣ノ經營ヲ內務省ニ統一施行スルノ決定ヲ見タリ

重要諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣功シタリシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シ昭和七年度ヲ以テ竣功ヲ告ゲタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ直轄起工シ又四日市港ハ同年度ヨリ三重縣ニ於テ施行シ船川港ハ同四十四年度ヨリ秋田縣ニ於テ施行セルガ兩港トモ大正三年度ヨリ補助港トナリ又神戶港防波堤築造工事、同港修築工事、門司港修築工事ハ大正八年度ヨリ橫濱港維持工事ハ同四十年度ヨリ下關港ハ同十年度ヨリ起工セシガ上記ノ內神戶港防波堤築造工事及門司港ハ同八年度ヨリ橫濱港維持工事ハ同十年度ヨリ內務省所管トナリ各修築工事ニ包括サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ國庫ヨリ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ、其他國庫補助工事トシテハ新潟港ハ同六年度ヨリ起工(市ノ起工セシヲ縣ニ於テ繼承)シ、長崎港ハ同九年度ヨリ起工シ又直轄施行ノ下關港及港水港ハ同十年度ヨリ起工シ高松、境ノ兩港亦同十一年度ヨリ起工シ、今治港ハ今治市ノ施工ナリシヲ同十二年度ヨリ直接續工シ、小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ、伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古、浦戶、七尾、尾道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右ノ港灣工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施行スルモノナリ

昭和八年度ニ於テハ既定修築費ノ一割ヲ節約、實行豫算トシ其既定工事ヲ施行スルノ外產業振興事業トシテ橫濱外九港ノ修築費ヲ十萬圓乃至四十萬圓ヲ繰上ゲ以テ港灣機能ノ充實ヲ促進スベク其繰上總額

百三十五萬圓（內地方負擔五十六萬圓）ナリ尙關門海峽及神戸港、今治港、鹿兒島港、鹽釜港ノ各港ハ產業開發ノ爲メ新工事ヲ追加起興スルコトトナリ尙重要港灣ニシテ未ダ改良工事ヲ施行セザル港灣中昭和七年度ヨリ改良工事ニ著手シタルモノハ大分港、三角港、細島港、宇野港ノ四港ニシテ又靑森港第二期ト若松港トハ共ニ國庫補助工事トシテ是亦同年度ヨリ起工ノコトトナリ酒田、和歌山、宇部、廣島、飾磨ノ五港ハ時局匡救事業トシテ八戸港ハ產業振興並ニ時局匡救事業トシテ施工スルコトトナレリ而シテ門司港浚渫工事トシテ第二豫備金ヨリ支出シ十年度起工シ當該年度ヲ以テ完了セリ

港灣工事中本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港第一期及第二期、新潟港、長崎港、高松港、下關港、門司港、境港、今治港、鹽釜港、小松島港、鹿兒島港、淸水港及門司港浚渫ノ十四工事ニシテ尙工事中ノモノハ關門海峽、神戸港、橫濱港、伏木港、土崎港、小名濱港、宮古港、浦戸港、七尾港、尾道港、舞鶴港、博多港、靑森港第二期、宇野港、三角港、大分港、細島港、若松港、廣島港、和歌山港、酒田港ノ二十一港灣ナリトス

第三　復舊、補修及應急事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀨川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ橫濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ橫濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ橫濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工

事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戸川、支川渡良瀬川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之ガ復舊工事ヲ施行シタリ尚昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出水ニ因リ利根、渡良瀬兩川維持工事ニ與ヘラレタル被害ニ對シテモ昭和三、四ノ兩年度ニ之ガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處本年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行スルコトトナリ又信濃川大河津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如「ピーヤ」陷沒ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ其復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度內ニ完成シ其補修工事モ六年度ヲ以テ完成シ利根渡良瀬兩川築堤其他震災復舊工事モ同七年度ヲ以テ之ガ完成ヲ見タリ而シテ第二期川タル大和川ハ地辻ノ爲メ河幅ノ狹窄、河床ノ隆起ヲ招キ、流水ノ閉塞ヲ來シ之ガ復舊ニ努メタリシモ地辻運動ノ終息ヲ見ルニ至ラズ洪水防禦上完全ヲ期スルガ爲メ八年度ヨリ着工セル應急工事及前年度着工ノ桂川災害復舊工事モ本年度ニ於テ竣功セリ而シテ十年度ニ淀川維持工事ニ與ヘタル水害ハ之レガ復舊ヲ要シ、又同年度ニ於ケル利根、渡良瀬兩川維持工事及筑後川改修工事ニ與ヘタル水害モ復舊ノ要アルヲ以テ施工ノ上共ニ本年度ヲ以テ竣功シタリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事ヲ剩スノミナリトス

第四　國道改良事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ亙ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之レガ爲

メ失業救濟道路改良費ノ稱呼ノ下ニ專ラ一般勞働者ノ失業ヲ救濟スルノ目的ヲ以テ創定ヲ見タリ尤モ從來道路改良費トシテ道路ノ改良ヲ助成スル爲メ地方ヲシテ國道以下適當ナル改良事業ヲ起興セシメ政府ハ之ニ對シ補助スルノ方針ヲ以テ制定セラレタリシヲ國家ノ直營事業トシテ昭和六年度ニ於テ失業救濟ノ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ改良工事ト相俟テ其效果ヲ擧グル計畫ナリトス而シテ失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川港灣等アレドモ焦眉ノ急トシテ普遍的ナル道路工事ニ依レルヲ得策トシ先ヅ以テ昭和六年度ニ於テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノニシテ本工事ハ總テ機械力ニ依ラズ一箇年度ヲ限リ完了スルヲ目途トシテ著手セルモノニシテ其工事ニ使役サルル勞働者ハ地元ノ失業者ニ限ラレ失業緩和ニ資シタルモノナリ

然ルニ七年度ニ於テモ經濟界ノ不況ハ依然トシテ去ラズ尙各種事業ノ萎微不振ノ爲メ失業者依然減少スルニ至ラズ仍テ之ガ救濟ヲ圖ル爲メ前年度ノ殘工事ノ外引續キ政府直轄ノ下ニ國道ノ改良事業ヲ起興セントシタルモ第六十回帝國議會ハ解散セラレ豫算不成立ニ終レリ然レドモ失業者ノ救濟ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ不取敢昭和六年度豫算四、五兩箇月分ノ工事費ヲ政府直轄國道改良事業費實行豫算トシテ計上シ前年度ト同樣失業者ヲ救濟スルト同時ニ道路改良ノ促進ヲ計リタリ然ルニ世界的經濟界ノ不況ハ益々深刻ヲ加ヘ失業者簇出スルノ現狀ナリシヲ以テ積極的ニ事業ヲ興シ產業ノ振興ヲ圖リテ失業ノ防止ト救濟トニ力ムルノ方針ヲ採リ新ニ產業振興道路改良事業ヲ計畫シ以テ自動車ノ發達ニ基因シテ要求セラルル道路改良ノ急ニ應ジ自動車ノ機能ヲ產業ノ進展ニ利用スルコトヲ企圖シタリ卽チ從來ノ道路改良計畫ハ徒ニ長期ニ亙ルノミナラズ國庫補助政策ノミヲ以テシテハ充分ナラザルノ嫌アリ仍テ昭和七年度以降五箇年度間ニ亙ル計畫ヲ樹立シ國道直轄ノ制度ヲ確立スルニ至レリ而シテ右計畫ノ下

ニ第六十二回帝國議會ニ追加豫算ヲ計上其ノ協賛ヲ得、前述ノ失業救濟國道改良費豫算ト合セ國道ヲ改良スルコトトシタリ然ルニ財界ノ不況彌々深刻ニシテ農山漁村ノ疲弊其極ニ達シ到底右計畫ヲ以テシテハ窮狀ヲ打開スル能ハザルノ實情ニ至レルヲ以テ更ニ第六十三回臨時議會ノ協賛ヲ經テ農村振興ノ爲メニ必要ナル工事ヲ起興シ既定產業振興國道改良事業ト併セ工事ヲ施行スルコトトシタリ

而シテ八年度以降ニ於テモ亦財界ノ不況依然トシテ去ラズ都市ニ於テハ多數ノ失業者ヲ見又農村ノ疲弊尙癒エズ中小商工業者ノ窮狀緩和サルルニ至ラザルヲ以テ八年度ニ在テハ前年度ニ於テ執行シタルト同樣ノ道路工事ヲ起興シテ所謂非常時局ヲ匡救スルノ必要アリ仍テ前記道路改良五箇年度計畫ノ趣旨ニ則リ政府自ラ國道改良工事ヲ施行セシガ九年度ニ於テモ前記ノ狀態ヲ持續セルヲ以テ改良工事ヲ續行スルノ外農村ノ疲弊救濟ノ趣旨ヲ以テ應急工事ヲモ施行シ十年度亦前年度ノ後ヲ承ケテ續工セリ斯ノ如ク昭和六年度以來國道改良工事トシテ直轄施行シ良好ノ成績ヲ收メ來リシガ元來國道ハ國家交通ノ幹線ナルヲ以テ其重要ナル改良ニ就テハ政府ニ於テ之ヲ統一シテ施行スルヲ至當ナリトシ本年度ヨリハ單ニ國道改良費トシテ繼年工事ヲ施行スルコトトナレリ

以上述ベタル事業ニ付テハ何レモ道路改築ノ見地ニ基キ交通上最モ重要ナル路線、及箇所ヲ撰擇シテ其改良ノ效果ヲ充分ナラシムルニ努メ且工事ノ施行ニ關シテハ凡テ政府自ラ直營スルノ方針ヲ採リ東京、橫濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戶及下關ノ各土木出張所ヲシテ之ヲ施行セシムルコトトシタリ各工事ノ狀況ニ付テハ第六章ニ於テ表示スルガ如クニシテ其列擧ニ就テハ豫算面ニ基キ前年度ノ繰越ニ係ル時局匡救、產業開發、農村其他應急工事ト本年度起工ノ國道改良費トニ夫々區分シ各事業ノ關係ヲ知ルノ便ニ供シタリ

第五　本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行セルハ河川改修四十五、河川附屬物及水路維持七、砂防十二、港灣改良二十三、復舊二、國道改良八十八、合計百七十七工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、橫濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其任ニ當レリ而シテ是等ノ總工費豫算額ニシテ本年度施工ニ關スルモノハ河川改修工事費三億三千九百七萬七千六百十二圓、河川附屬物及水路維持工事費一千五百十七萬三千四百三圓、砂防工事費一千二百三十二萬四千八十四圓、港灣改良工事費一億三千八百三萬三千百三十五圓、復舊工事費四百七十萬一千三百六十五圓、國道改良工事費三千四十四萬一千百五十七圓、合計五億三千九百七十五萬七百五十六圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功額ヲ累算スレバ三億四千六百五十二萬五千四百四十三圓ニ達シ其內本年度ノ竣功ニ屬スルモノハ三千四百十五萬九千六百九十四圓ナリトス今之ヲ本年度末竣功步合ニ就テ見レバ河川改修工事費ハ其總工費既定額ノ七割二分ニ當リ河川附屬物及水路維持工事費ハ同七割四分、砂防工事費ハ同七割二分、港灣改良工事費ハ同八割一分、復舊工事費ハ同九割二分、國道改良工事費ハ四割五分ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功步合ハ同六割四分ニ當レリ而シテ以上ノ外明治三十六年度以降前年度迄ニ竣功シタル各工事費累算額ハ二億八千百七十萬八千六百七十三圓ニシテ之ヲ前記ノ竣功額ニ合算スレバ實ニ六億二千八百二十三萬餘圓ノ巨額ニ達セルモノナリトス

今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ之ヲ列記スレバ次表ノ如シ但シ前年報ニ比シ差違アルハ工事費豫算ヲ改訂セルモノアルト竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタル等ニ因ル表中工事名欄國道改良工事中ノ「十時匡」ハ十年度時局匡救ノ繰越事業、「十農急」ハ十年度農村其他應急工事ノ繰越事業、單ニ「時匡」トア

ルハ本年度ニ於ケル新規着工ノ時局匡救事業「國改」トアルハ本年度ニ於ケル新規着工ノ國道改良事業ヲ示シ竣功額欄「◎」ハ縣市若クハ會社等負擔額「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ寄附又ハ提供材料竝勞力費「×」ハ土木試驗所ヘ補給減額「震」ハ直轄震災復舊「●」ハ依託工事費但シ「鐵」ハ鐵道省「靜」ハ靜岡縣ヲ示ス殘高欄「△」ハ超過額ヲ示ス（竣功高ニシテ豫算額ヨリ超過セルモノアルハ他ヨリ流用シタルモノ等アルニ因ル）

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
荒川上流改修工事	東京	二、〇三八、三八二	□▲ 二〇、一六五、三二八	□▲ 三七五、〇四〇	□▲ 二〇、五四〇、三八八	四九八、〇〇〇	〇・九八
最上川改修工事	新潟	一三、四五九、〇四四	◎□▲ 一一、九九八、四〇五	◎□▲ 三三八、四五五	◎□▲ 一二、三三七、四六〇	一、二七一、七九一	〇・九一
江合、鳴瀬兩川改修工事	仙臺	七、六九四、〇七八	□ 六、六三五、四〇二	□ 二六七、六三三	□ 六、九〇二、七三五	七七一、四三三	〇・九〇
雄物川改修工事	仙臺	一〇、二九七、〇二八	□ 九、一九七、一六五	□ 四四六、四四三	□ 九、六四三、六〇八	九五五、四三二	〇・九三
千曲川改修工事	新潟	一二、〇〇三、五七〇	×□▲ 九、八〇〇、六九二	×□▲ 二〇三、八五〇	×□▲ 一〇、〇〇四、五四二	九六九、〇一〇	〇・九一
神通川改修工事	新潟	八、二九五、二八四	□▲ 七、九四一、五〇七	□▲ 一二、三一一	□▲ 七、九五四、八一八	二〇一、〇一二	〇・九八
岩木川改修工事	仙臺	一二、四三八、〇二二	□ 八、五四五、一八五	□ 三一四、六四四	□ 八、八五九、八二九	三、五七八、一九二	〇・七一
阿賀川及阿武隈川改修工事	仙臺	一二、六八八、四九六	□ 一〇、七四五、九三二	□ 二四五、七二七	□ 一〇、九九〇、六五九	一、六九六、八三七	〇・八七
圓山川改修工事	大阪	七、一七七、七七一	□▲ 六、六二六、〇三九	□▲ 二八五、〇五〇	□▲ 六、九一一、一一八	二六六、六六〇	〇・九六
富士川改修工事	東京	一〇、五〇七、一三七	□▲ 八、六〇五、一五〇	□▲ 三九四、四四九	□▲ 八、九九五、五四四	一、五八一、五四三	〇・八五
木曾川上流改修工事	名古屋	二四、二七、二〇三	□▲ 一七、二五一、四六二	□▲ 一、一〇七、一四二	□▲ 一八、三五八、六〇四	五、八〇一、二七六	〇・七六

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
河川改修工事							
斐伊川改修工事	大阪	五、九七八、八一八	四、五二七、〇七八	二二〇、〇〇〇	四、七二七、〇七八	一、一九一、七五〇	〇・八〇
天龍川改修工事	名古屋	五、一九五、四八二	四、七九五、一九七	二三、一一七	四、八一八、三一四	一、三八八、一三二	〇・七四
信濃川上流改修工事	新潟	五、三七〇、七八〇	四、一二六、四九九	三七、九三六	四、一六四、四三五	九二一、八四三	〇・八三
千代川改修工事	大阪	五、三八八、七三三	四、三四一、四七〇	一四、五三九	四、三五五、九八〇	八二八、八七八	〇・八五
蘆田川改修工事	大阪	四、六三六、一三五	三、八〇一、三四五	二三、一一〇	三、八二四、四五五	六〇一、二三三	〇・八七
紀ノ川改修工事	大阪	三、八三一、一三五	三、〇三五、八八〇	一五、〇三三	三、〇五一、九一三	五八六、九一五	〇・八五
筑後川改修工事	下關	二、八三一、六六二	二、四八七、七〇〇	一五、一八二	二、五〇三、八八二	六、三二八、八三一	〇・五二
綠川改修工事	下關	三、三三一、五七五	二、四八七、七一〇	二三、一一〇	二、五一〇、八二〇	四八九、二八〇	〇・八五
北川改修工事	名古屋	一、九〇九、一二二	一、六三六、七九七	一三、六八一	一、六五〇、四七八	一四五、九五四	〇・九二
旭川改修工事	大阪	二、二八、八四五	三、八一九、五〇七	二八、一〇〇	三、八四七、六〇七	七、三七七、七七六	〇・四〇
鬼怒川改修工事	東京	二、三九一、九〇四	四、九四〇、一三一	一五、四〇七	四、九五五、五三八	五、九八八、一八八	〇・四七
大淀川改修工事	下關	五、〇五一、六四七	四、八四〇、九三五	一五、一〇〇	四、八五五、〇三五	二、四六一、六九二	〇・五一
狩野川改修工事	横濱	四、九五六、九三五	四、八四〇、九三五	一五、一〇〇	四、八五五、〇三五	一、九五五、一六七	〇・六一
那賀川改修工事	神戸	四、六三〇、五七五	四、一二六、四九九	二三、一一七	四、一六四、四三五	九二一、八四三	〇・八三
大野川改修工事	下關	四、四二二、三九	四、一二六、四九九	二三、一一七	四、一六四、四三五	二、八八六、五四七	〇・三五

| 修工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
河川附屬物及水路維持工事							
木曾川附屬物水路維持工事	名古屋	一、五七一、三七〇円	一、四五三、三六六円	四三、五九二円	一、四九六、九五八円	七四、四一二円	割分 〇・九五
淀川維持工事	大阪	二、一五八、〇四三	▲一、八五二、八四三	▲一九四、七四三八	▲二、〇四七、一〇九四三、八二〇	一一〇、九三四	〇・九五
利根、渡良瀬兩川維持工事	東京	六、二九四、〇三八	▲四、七三七、七四四六、一五六	▲二九、二九九	五、〇三七、〇三三六、一五六	一、二五六、九五六	〇・八〇
信濃川維持工事	新潟	一、三三、二九	一、〇七一、一六九	五七、四一〇	一、二八、五七九	二三四、五五〇	〇・八三
荒川維持工事	東京	一、九四五、八三	▲五七一、九八三四四、四五〇	▲一七、四四九五六、九〇〇	▲七四四、一九一四〇一、三五〇	一、一〇一、六二一	〇・三八
多摩川維持工事	東京	一、一〇〇、〇〇〇	三五二、〇一〇	▲八九、八六八	四四一、八七八	六五八、一二二	〇・四〇
北上川維持工事	仙臺	七四一、〇〇〇	一八三、五八七	七四、一五〇	二五七、七四七	四八三、一五三	〇・三五
小計（七）	五	一五、一三三、四〇三	二〇、二三二、九四九	九三〇、五八七	二一、一五三、五三六	四、〇一九、八六七	〇・七四
砂防工事							
淀川流域（瀨田川）砂防工事	大阪	九七〇、〇〇〇円	▲九一四、九七三二七円	▲一四、五七一	九三九、五四五三七円	三〇、四五〇円	割分 〇・九七
富士川流域砂防工事	東京	一、八五五、五〇七	一、六二〇、七八一	三七、三三三	一、六五八、〇一四	一九七、四九三	〇・八九
信濃川水系砂防工事	新潟	一、二二四、二四一	▲九八六、三五五二、一六二	▲四一、〇五七	一、〇七、四二二、二六二	一八七、二一九	〇・八五
鬼怒川流域砂防工事	東京	一、〇七、〇八六	八九一、七七七	三八、七二九	九三〇、五一六	一四六、五七〇	〇・八六
常願寺川流域砂防工事	新潟	二、二三〇、二六一	一、七八六、六一六	一四四、五六九	一、九三一、一八五	二八九、〇七七	〇・八七
手取川流域砂防工事	新潟	一、八五六、五三二	七四九、七七一	一三五、五一九	八八五、二九〇	九七一、二四二	〇・四八
揖斐川流域砂防工事	名古屋	九六八、二一七	五八四、五二一	四一、七五五	六二六、一八六	三四一、九三一	〇・六五
木津川流域砂防工事	大阪	三四九、一一四	二八四、九二九	一、二〇一	二六六、一四〇	五一、九七四	〇・八五
神通川上流砂防工事	新潟	五四〇、〇〇〇	二五八、一八八	四七、五八九	三〇五、七六七	二三四、二三三	〇・五七
烏川流域砂防工事	東京	九九、〇九〇	—	一六、一一二	一六一、一一三	七四七、九七八	〇・一八
天神川流域砂防工事	大阪	一八一、八五		三、一一七	三一、一一七	一四九、九九八	〇・一八

| 事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
港灣改良工事		円	円	円	円	円	割分
若松港修築工事	下關	七四〇、〇〇〇	五一六、〇二八	一二六、一四三	六三一、一八一	一〇七、八一九	〇、八五
廣島港修築工事	大阪	三、二九六、〇〇〇	一、二三二、〇七二	二二〇、一三一	一、五七三、二〇八	一、七二三、七九二	〇、四八
和歌山港修築工事	大阪	二、一二六、〇〇〇	一、一〇三、九七六	二〇五、八二二	一、三〇八、三八二	八〇七、六一八	〇、六二
酒田港修築工事	新潟	一、五三二、〇〇〇	七七三、七一五	一五九、〇九八	九三一、八一三	五九九、一七七	〇、六一
洞海灣改修工事	下關	二、二七八、〇〇〇	—	二、一八六、四五〇	二、一八六、四五〇	九〇九、一五〇	〇、七九
小計（三三）	六	一三八、〇三三、一三五	一〇二、六四五、七八〇	八、八五〇、四六五	一一、四九六、二四五	三六、三五六、八九〇	〇、八一
復舊工事							
相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事	東京	三、五五六、五五〇	三、二七五、五三〇	九八、〇二〇	三、三七四、一三七	三八一、六二八	〇、九〇
利根、渡良瀨兩川維持水害復舊工事	東京	九四四、六〇〇	五九〇、八〇八	三三三、五六六	九四四、三七四	三一六	一、〇〇
小計（二）	一	四、五〇一、三五五	三、八六六、三三八	四五二、一二五	四、三一八、五一一	三八二、八五四	〇、九二
國道							
國道一號線（保土ヶ谷）改良工事（國改）	橫濱	二、一〇〇、〇〇〇	—	三九三、五〇二	三九三、五〇二	一、七〇六、四九八	〇、一九
國道一號線（茅ヶ崎）改良工事（十時匡）（國改）	橫濱	一〇〇、〇〇〇	八六、五八七	一三、四一三	一〇〇、〇〇〇	—	一、〇〇
國道一號線（二宮）改良工事（十時匡）	橫濱	三〇、〇〇〇	二一、五九〇	一七、四一〇	三〇、〇〇〇	—	一、〇〇
國道一號線（二宮）改良工事（十時匡）	橫濱	一七〇、〇〇〇	一五三、四九〇	一六、五一〇	一七〇、〇〇〇	—	一、〇〇
國道一號線（富士川）改良工事（十時匡）	橫濱	二五、〇〇〇	七、八六七	一七、一三三	二五、〇〇〇	—	一、〇〇
國道一號線（蒲原）改良工事（十時匡）	橫濱	七五、〇〇〇	七一、六一一	二、三八九	七五、〇〇〇	—	一、〇〇
國道一號線（興津）改良工事（國改）	橫濱	一〇〇、〇〇〇	—	九五、四〇一	九五、四〇一	四、五九九	〇、九五
國道一號線（愛知）改良工事（十時匡）（國改）	名古屋	一〇〇、〇〇〇	九一、九〇七	七、〇九三	九九、〇〇〇	九七	一、〇〇
國道一號線（愛知）改良工事（國改）	名古屋	七一、〇〇〇	—	七、一四三	七、一四三	六、一四三	一、〇〇
國道一號線（三重）改良工事（十時匡）	名古屋	二〇〇、〇〇〇	一〇八、一五八	九一、七八九	一九九、七八九	二一一	一、〇〇

改良工事

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
國道四號線（宮城）改良工事（國改）	仙臺	円 一九五、〇〇〇	円 —	円 一五七、七〇〇	円 一五七、七〇〇	円 三七、三〇〇	分 〇・八一
國道四號線（宮城）改良工事（一農急）	仙臺	二〇〇、〇〇〇	一五二、一四一	四七、八五九	二〇〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇	—	九六、六七三	九六、六七三	三、三二七	〇・九七
國道四號線（岩手）改良工事（一農急）	仙臺	一〇〇、〇〇〇	九一、五八三	八、四一七	一〇〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（一農急）	仙臺	一〇〇、〇〇〇	〇五〇、五七	二四、九四〇	一〇〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（國改）	仙臺	三三〇、〇〇〇	二三二、〇一七	六、七九三	三三〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（國改）	仙臺	一七三、〇〇〇	—	一六八、五九六	一六八、五九六	四、四〇四	〇・九七
國道四號線（岩手）改良工事（國改）	仙臺	一三、〇〇〇	—	九五、九七七	九五、九七七	一六、〇二三	〇・八六
國道五號線（福島、山形）改良工事（一農急）	仙臺	二三〇、〇〇〇	一〇一、一〇二	一八、八九八	二一〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道五號線（秋田）改良工事（一農急）	仙臺	三〇〇、〇〇〇	二三〇、六六五	六九、三三五	三〇〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道五號線（秋田）改良工事	仙臺	一五〇、〇〇〇	一二七、五六四	三二、四三六	一五〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道五號線（青森）改良工事（國改）	仙臺	二〇〇、〇〇〇	—	一六〇、〇四五	一六〇、〇四五	三九、九五五	〇・八〇
國道五號線（青森）改良工事（國改）	仙臺	二〇〇、〇〇〇	—	一七六、三三五	一七六、三三五	二三、六七五	〇・八八
國道六號線（金町）改良工事（一時匡）	仙臺	一〇〇、〇〇〇	—	八五、八三一	八五、八三一	一四、一六九	〇・八五
國道六號線（福島）改良工事（國改）	東京	一八〇、〇〇〇	一二七、九〇六	二、九六〇	一七七、八六六	二、一三四	〇・九八
國道七號線（千葉）改良工事（一時匡）	仙臺	一七〇、〇〇〇	—	九九、四一九	九九、四一九	七〇、五八一	〇・五八
國道七號線（千葉）改良工事	東京	二〇〇、〇〇〇	一三一、九一〇	四八、〇三二	一九九、九五二	四八	一・〇〇
國道八號線（山梨）改良工事（國改）	東京	五五〇、〇〇〇	—	一八一、九一三	一八一、九一三	三六七、〇七七	〇・三三
國道八號線（山梨）改良工事（一農急）	東京	二一〇、〇〇〇	五六、一三一	六三、七六四	一二九、八九六	一〇一	一・〇〇
國道八號線（山梨）改良工事	東京	一五〇、〇〇〇	—	五三、五九三	五三、五九三	九六、四〇七	〇・三六
國道八、十二號線（岐阜）改良工事（國改）（一時匡）	名古屋	二〇〇、〇〇〇	一五七、一二九 一、五七五	三九、四五八	一九六、五八七 一、五七五	三、四二三	一・〇〇

良工事

國道九號線（板橋）改良工事（十時匡）	東京	二三〇、〇〇〇		一七四、七四四		二、〇〇					
國道九號線（板橋）改良工事（國改）	東京	二〇〇、〇〇〇		一五八、四五五		二、〇〇					
國道九號線（大宮）改良工事（十農急）	東京	一〇〇、〇〇〇		五六、〇九三		一、〇〇					
國道十號線（群馬）改良工事（十農急）	東京	八〇、〇〇〇		五〇、二五五		一、〇〇					
國道十號線（埴科）改良工事（十農急）	新潟	二四〇、〇〇〇		一三九、一〇五		一、〇〇					
國道十號線（埴科）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇									
國道十號線（蒲原）改良工事（十農急）	新潟	一五〇、〇〇〇		一二五、八八九		一、〇〇					
國道十號線（蒲原）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇									
國道十號線（莊內）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇									
國道十號線（押切）改良工事（十農急）	新潟	六〇、〇〇〇		四九、八二四		一、〇〇					
國道十號線（酒田）改良工事（十農急）	新潟	一〇〇、〇〇〇		六二、四三九		一、〇〇					
國道十號線（置賜）改良工事（國改）	新潟	一〇〇、〇〇〇									
國道十一號線（親不知）改良工事（十時匡）	新潟	一五〇、〇〇〇		一三六、三七〇		一、〇〇					
國道十一號線（親不知）改良工事（國改）	新潟	五〇、〇〇〇									
國道十一號線（高岡）改良工事（十時匡）	新潟	一八〇、〇〇〇		一二〇、七一七		一、〇〇					
國道十一號線（高岡）改良工事（國改）	新潟	八〇、〇〇〇									
國道十五號線（奈良）改良工事（國改）	大阪	八〇、〇〇〇									
國道十五號線（奈良）改良工事（十時匡）	大阪	八九、五〇〇	▲	六五、〇六三、四七三	▲	二三、〇三四、二七	▲	一三、〇二四、八四八	▲	五、〇〇	▲
國道十五號線（和歌山）改良工事（國改）	大阪	一〇〇、〇〇〇									
國道十六號線（和歌山）改良工事（十時匡）	大阪	三三六、〇〇〇		三一五、二九二		二一、三一七		一四、四八一		九、四一三	
國道十六號線（大阪）改良工事（十時匡）	大阪	二〇〇、〇〇〇		一八一、五三〇		二五、六三〇	△	一七、〇二〇	△	七、一六〇	△
國道十六號線（大阪）改良工事（十時匡）	大阪	八四、〇〇〇		八八、九八八		八七、四八一	△	八七、四八一	△	三、四八一	△
國道二十二號線（香川）改良工事（十時匡）	神戶	一〇〇、〇〇〇		八八、九八八		一〇、九三三		九九、九三		六九	
國道九號線（板橋）改良工事（十時匡）	東京	二三〇、〇〇〇		一七四、七四四		二二九、九七五		一、〇〇			
國道九號線（板橋）改良工事（國改）	東京	二〇〇、〇〇〇		一五八、四五五		二五八、四五五		一、〇〇		四一、五四五	〇、七九
國道九號線（大宮）改良工事（十農急）	東京	一〇〇、〇〇〇		五六、〇九三		九九、九八五		一、〇〇		一五	
國道十號線（群馬）改良工事（十農急）	東京	八〇、〇〇〇		五〇、二五五		七九、六八六		一、〇〇		五九	
國道十號線（埴科）改良工事（十農急）	新潟	二四〇、〇〇〇		一三九、一〇五		二四〇、〇〇〇		一、〇〇			
國道十號線（埴科）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇									
國道十號線（蒲原）改良工事（十農急）	新潟	一五〇、〇〇〇		一二五、八八九		一四、一一		一、〇〇			
國道十號線（蒲原）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇									
國道十號線（莊內）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇									
國道十號線（押切）改良工事（十農急）	新潟	六〇、〇〇〇		四九、八二四		一〇、一七六		一、〇〇			
國道十號線（酒田）改良工事（十農急）	新潟	一〇〇、〇〇〇		六二、四三九		三五、〇一〇		一、〇〇			
國道十號線（置賜）改良工事（國改）	新潟	一〇〇、〇〇〇									
國道十一號線（親不知）改良工事（十時匡）	新潟	一五〇、〇〇〇		一三六、三七〇		一三、六三〇		一、〇〇			
國道十一號線（親不知）改良工事（國改）	新潟	五〇、〇〇〇									
國道十一號線（高岡）改良工事（十時匡）	新潟	一八〇、〇〇〇		一二〇、七一七		一二、〇一九		一、〇〇			
國道十一號線（高岡）改良工事（國改）	新潟	八〇、〇〇〇									
國道十五號線（奈良）改良工事（國改）	大阪	八〇、〇〇〇									
國道十五號線（奈良）改良工事（十時匡）	大阪	八九、五〇〇	▲	六五、〇六三、四七三	▲	二三、〇三四、二七	▲	一三、〇二四、八四八	▲	五、〇〇	▲
國道十五號線（和歌山）改良工事（國改）	大阪	一〇〇、〇〇〇									
國道十六號線（和歌山）改良工事（十時匡）	大阪	三三六、〇〇〇		三一五、二九二		二一、三一七		一四、四八一		九、四一三	
國道十六號線（大阪）改良工事（十時匡）	大阪	二〇〇、〇〇〇		一八一、五三〇		二五、六三〇	△	一七、〇二〇	△	七、一六〇	△
國道十六號線（大阪）改良工事（十時匡）	大阪	八四、〇〇〇		八八、九八八		八七、四八一	△	八七、四八一	△	三、四八一	△
國道二十二號線（香川）改良工事（十時匡）	神戶	一〇〇、〇〇〇		八八、九八八		一〇、九三三		九九、九三		六九	

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
國道二十二號線（香川）改良工事	神戸	一五〇、〇〇〇円	円	一二、九九〇円	一二、九九〇円	二七、〇一〇円	割分 〇・八二
國道二十四號線（愛媛）改良（國改）工事	神戸	一七〇、〇〇〇	一五八、八〇五	一一、一九五	一七〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道二十四號線（愛媛）改良（十時匡）（農急）工事	神戸	一八〇、〇〇〇	—	一七、六四五	一七、六四五	七、三五五	〇・九六
國道二十五號線（佐賀）改良（十時匡）工事	下關	七六、〇〇〇	◎	◎ 四、一四〇、一五〇	◎ 七一、八二〇、一八〇	—	一・〇〇
國道二十二號線（廣島）改良（十時匡）工事	大阪	三〇〇、〇〇〇	▲ 一九八、八七三、二一三、二一〇	▲ 一〇一、一一〇、五八〇	▲ 二九九、九九三、九九〇	七	一・〇〇
國道二十五號線（佐賀）改良（國改）工事	下關	一〇〇、〇〇〇	—	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道三十三號線（長崎）改良（十時匡）工事	下關	一〇〇、〇〇〇	◎ 三四、八八七、三四〇	◎ 一一、一二五、三六三	◎ 四五、〇一二、七〇三	一、二一〇、六一三	一・一七
國道三十三號線（長崎）改良（國改）工事	大阪	一、四五〇、〇〇〇	—	一三九、三八七	一三九、三八七	—	一・〇〇
國道三十二號線（長崎）改良（國改）工事	下關	一〇〇、〇〇〇	◎	◎ 九二、一八七	◎ 九二、一八七	七、八一三	〇・九三
國道三十六號線（新京濱）新設工事（國改）（新京濱）改良工事	東京	六、三〇〇、〇〇〇	—	九六二、一八七	九六二、一八七	五、五三七、一二三	〇・一五
國道三十六號線（新京濱）改良工事（國改）	横濱	六、五〇〇、〇〇〇	—	九八五、四八四	九八五、四八四	五、五一四、三一六	〇・一五
小計（八八）	八	三〇、四四一、一五七	五、三八〇、九三九	三四、一五九、六九四	三四六、五二五、四四三	一九二、三五三、三一三	〇・六四
總計（一七七）	八	五三七、七五〇、七五六	三一三、三五五、四七九	三四、一五九、六九四	三四六、五二五、四四三	一六、七七六、六八九	〇・四五

第六竣功工事

直轄ニ係ル河川改修工事、防砂工事及港灣改良工事ニシテ昭和十年度迄ニ竣功シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ別記スレバ左表ノ如シ但シ竣功額ノ豫算額ヨリ超過シタルモノアルハ流用等ニ因ル

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
河川改修工事					
筑後川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年度	明治三十六年度	一、四八四、〇〇〇円	一、四六八、〇三四円
淀川改修工事	大阪、滋賀、京都	同　二十九年度	同　四十三年度	一〇、〇六四、〇〇〇	一〇、〇六二、二一三
木曾川下流改修工事	岐阜、愛知、三重	同　二十年度	大正　元年度	九、四六四、一三八	九、四五九、三七三
庄川改修工事	富山	同　三十三年度	同　元年度	二、九九二、四三二	二、九九二、三三九
遠賀川改修工事	福岡	同　三十九年度	同　七年度	四、八三一、〇〇〇	四、八三五、四五五
淀川下流改修工事	大阪	同　四十年度	同　十一年度	三、七五五、〇〇〇	三、七三九、五八六
九頭龍川改修工事	福井	同　三十三年度	同　十三年度	五、五四〇、四〇一	五、五四五、一五一
渡良瀬川改修工事	茨城、群馬、栃木	同　四十三年度	昭和　元年度	二、四〇〇、〇〇〇	二、三七〇、三三三
信濃川改修工事	新潟	同　四十年度	同　二年度	三三、五四一、九五〇	三三、五三八、二一六
吉野川改修工事	徳島	同　四十年度	同　二年度	二、〇一六、二八五	二、〇一二、七一八五
高梁川改修工事	岡山	同　四十年度	同　二年度	七、九二六、〇八七	七、八二六、二〇六
利根川改修年度	東京、埼玉、千葉	同　三十三年度	同　五年度	六三、四〇三、一七	六三、三六八、四〇六
荒川下流改修工事	茨城、栃木、群馬	同　四十四年度	同　五年度	三一、三四四、〇〇〇	三一、三四二、一四六
淀川改修増補工事	東京、埼玉	同　四十四年度	同　五年度	三一、三四四、〇〇〇	三一、三四二、一四六
阿賀野川改修工事	大阪、京都	大正　七年度	同　七年度	一四、五一七、八五一	一四、二九七、一五五
多摩川改修工事	新潟	同　四年度	同　八年度	二、八八七、一二〇	二、八八七、二一九
北上川改修工事	東京、神奈川	同　七年度	同　八年度	七、四一四、七八九	七、二一〇、〇二一
太田川改修工事	静岡	大正　八年度	同　九年度	四、五一九、四〇一	四、五一七、四四九
加古川改修工事	大阪	同　七年度	同　十年度	五、八二四、四八五	五、五五九、二六四
小計（一九）				二四六、三三九、二九六	二四五、一八一、五七六

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
砂防工事					
吉野川流域砂防工事	德島	大正四年度	大正九年度	一五〇、〇〇〇圓	一四一、二五八圓
野洲川流域砂防工事	滋賀	同四年度	同十三年度	六〇、〇〇〇	五九、八三三
神通川流域砂防工事	岐阜	同八年度	昭和五年度	二七六、八三八	二七六、五七六
桂川流域砂防工事	京都	同五年度	同六年度	九五、一〇〇	九四、九六三
小計（四）					
港灣改良工事					
敦賀港修築工事	福井	明治四十二年度	大正二年度	八〇〇、〇〇〇	七三三、二一〇
新潟港修築工事	新潟	大正六年度	同十四年度	二、三四二、一〇七	二、三二六、九〇一
長崎港修築工事	長崎	同九年度	昭和二年度	二、四五〇、〇〇〇	二、四六三、七六八
高松港修築工事	香川	同十一年度	同三年度	二、二〇〇、〇〇〇	二、一九八、八八〇
下關港修築工事	山口	同十年度	同四年度	三、四四二、〇〇〇	三、一七二、一三〇
門司港修築工事	福岡	同八年度	同六年度	五、八五〇、〇〇〇	五、六五七、六八三
境港修築工事	鳥取	同十一年度	同六年度	一、九五四、八四〇	一、九七四、八四〇
鹽釜港修築工事	宮城	同三年度	同七年度	五、〇八七、七八一	五、〇八七、八〇三
敦賀港修築工事	福井	同十一年度	同七年度	三、四三二、六四三	三、四三二、六四三
今治港修築工事	愛媛	同十一年度	同八年度	二、九七一、〇一九	二、九二一、九二九
小松島港修築工事	德島	同十二年度	同九年度	二、八八一、三八四	二、七九八、六六三
鹿兒島港修築工事	鹿兒島	同十二年度	同九年度	二、七〇七、八三一	二、六三〇、〇〇九
鹽釜港修築增補工事	宮城	昭和七年度	同九年度	五六二、〇〇〇	五六六、〇〇四
小計（一三）					
總計（三五）				二八三、六九三、八三	二八一、七〇八、六七三